



雪窓保育園完成

**平成6年**  
雪窓保育園が完成しました。総工費約4億円をかけ、この年の4月2日初めての入園式が行われました。これまでの保育園より、園舎園庭が大きく、園児たちは元気に走り回っていました。



第1回きなんしまつり開催

**平成5年**  
第1回「きなんしまつり」が開催されました。このまつりは公民館が行っている総合文化展・公民館まつり、芸能大会をひとつにまとめて行われたものです。多くの住民の皆さまが訪れ、盛大に行われました。

雪窓公園完成



**平成4年**  
「安全」「健康」「快適」多様なニーズに答える公園として、雪窓公園が完成しました。この公園整備は、まちづくり対策事業として、自治省の採択を受け、昭和62年に着工、5年の歳月と10億2千万円の事業費を要しました。



# 平成の御代田町を

1989～2018

# 広報紙で振り返る

4月1日に新元号「令和」が発表され、新しい元号は5月1日より施行されます。

そこで、平成に起きた御代田町の出来事の一部を当時の広報紙で振り返ります。



ふるさと農道開通

**平成9年**  
「ふるさと」農道は、北陸新幹線により集落と耕地が分断され、耕作、運搬などの支障の解消と、湯川で分断されていた佐久市と町中心部を結ぶ道路で平成5年度より長野県の農道緊急整備事業として、総工費25億2千万円を投じて、整備されました。



集中豪雨で道路決壊相次ぐ

**平成8年**  
7月19日、31日集中豪雨による災害が発生しました。この雨により、町内の至るところで道路が決壊するなどしました。31日は4時40分から5時40分の1時間で雨量78ミリ、6時までの総雨量83ミリを記録しました。



やまゆり公園竣工式、勤労者総合スポーツ施設落成式

**平成7年**  
10月12日、やまゆり公園の竣工式が、また、10月18日には勤労者総合スポーツ施設(やまゆり体育館)落成式が行われました。やまゆり公園は平成3年度から4年の歳月と8億円余の事業費を投じ完成しました。体育館は勤労者の福祉の増進と雇用の安定を図るため、建設されました。

資源ごみをプラスチックボトル、白色トレイ、その他紙の3種に分別



**平成12年**  
平成12年4月より、今まで埋め立て処分していたプラスチックボトルや焼却処分していた白色トレイ、その他紙の新たな3種類の分別収集が始まりました。分別収集をさらに細分化することにより、埋め立てごみ、可燃ごみの減量が図られました。



集中豪雨で2億2800万円の被害

**平成11年**  
8月14日から15日にかけての集中豪雨は、佐久地方全域に多大な被害を及ぼし、町内においては、民家、道路、河川、田畑、農作物などに被害が及びました。雨量は8月14日午後1時～午前8時にかけて179ミリを観測し、1時間最大雨量は36ミリでした。



長野冬季オリンピック聖火が御代田を走る

**平成10年**  
ギリシャのオリンピアで太陽熱から点火されたオリンピックの炎が、海を越え、日本へそして御代田町へリレーされました。旧役場庁舎で出発式が行われ、次の小諸市までリレーしました。中学校吹奏楽部がオープニングアトラクションで演奏するなどして盛り上がりました。



「時報みよた」に替わり「みよた広報やまゆり」創刊

**平成3年**  
「いつまでも住みたい優しい心の人々が住む」町づくりを目指し、「時報みよた」に替わり、平成3年8月号より「みよた広報やまゆり」がスタートしました。



町デイ・ホーム、デイ・サービス開始

**平成2年**  
町福祉センターにデイ・ホーム、デイ・サービスが開所されました。この事業は、介護者の負担の軽減とお年寄り同士のふれあいを目的として、実施されるようになりました。



国土利用計画法により「地価監視区域」に指定

**平成元年**  
10月16日国土利用計画法により、御代田町が地価監視区域に指定されました。これは、隣接する軽井沢町などの影響を受けて、全体的な地価が著しい上昇を示していることから、指定を受けました。現在、指定は解消されています。